



2026年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月9日

上場会社名 株式会社丸山製作所 上場取引所 東
コード番号 6316 URL <https://www.maruyama.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内山 剛治
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 高取 亮 (TEL) 03-3252-2271
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第1四半期の連結業績(2025年10月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第1四半期	8,709	17.3	24	—	35	—	15	—
2025年9月期第1四半期	7,424	9.5	△424	—	△283	—	△177	—

(注) 包括利益 2026年9月期第1四半期 433百万円(205.6%) 2025年9月期第1四半期 141百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第1四半期	3.98	—
2025年9月期第1四半期	△43.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第1四半期	40,302	20,894	51.3
2025年9月期	39,101	20,794	52.7

(参考) 自己資本 2026年9月期第1四半期 20,688百万円 2025年9月期 20,596百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	—	—	80.00	80.00
2026年9月期	—	—	—	—	—
2026年9月期(予想)	—	—	—	75.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2025年9月期期末配当金の内訳 普通配当 75円00銭 記念配当(創業130周年記念) 5円00銭

3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,500	1.1	350	—	350	—	200	—	50.58
通期	42,000	1.8	1,500	38.9	1,500	27.8	900	21.1	227.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1 社 (社名) MARUYAMA COLOMBIA S. A. S. 、除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年9月期1Q	5,029,332株	2025年9月期	5,029,332株
2026年9月期1Q	1,076,591株	2025年9月期	1,075,185株
2026年9月期1Q	3,952,246株	2025年9月期1Q	4,097,214株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無

監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当第 1 四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当第1四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第1四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(第1四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当第1四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、個人消費の持ち直しや企業の設備投資意欲の改善がみられる一方、原材料価格の高止まりや為替変動の影響が続くなど、依然として不安定な要素を含みつつも、総じて緩やかな回復基調で推移しました。一方で、国際的には、地政学リスクの長期化や主要国の金融政策の転換に伴う景気減速懸念が強まり、サプライチェーンの混乱や物流コストの上昇など、事業環境は依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループが主力とする農林業用機械業界におきましては、国内外向けともに出荷・生産実績は回復傾向の兆しが見られました。

このような状況の中、当社グループは、国内では主力製品である動力噴霧機のモデルチェンジを記念し、2026年3月31日まで「自走ラジコンセット動噴キャンペーン」を実施しており、全国で対象製品を中心に積極的な営業活動を展開し、需要の掘り起こしと拡販を図ってまいりました。また、大型防除機や稲作関連機械を中心に拡販施策を推進し、販売の強化に努めてまいりました。

ウルトラファインバブル製品につきましては、温水洗浄機を全国の公共施設やバス会社へ納入するなど、導入実績の拡大が進んでおります。あわせて、テックシャワーやウルトラポンプについても農業分野を中心に販路拡大を図り、需要の喚起に注力してまいりました。昨年リリースいたしました、洗濯機用アダプタ「バブリッシュ」については、家電量販店やECサイトでの販売を継続し、市場浸透に向けた取り組みを進めてまいりました。

近年当社が注力しているアフターサービス事業においては、引き続き取引先やサービス協力店との連携を深め、大型防除機やドローンの定期点検・整備の実施体制の拡充や製品安全に関する啓発活動など、お客様がより安心して当社製品をご利用いただけるよう、安全・安心に関する取り組みに継続して実施してまいりました。

海外では当社グループの強みである大型防除機などの農林業用機械の販売において、韓国や台湾で展示会や実演を積極的に実施することで安定的な市場確保に努めてまいりました。主力製品である刈払機については、タイ国市場での新製品の販売拡大を目指し、販売網を強化するとともに部品や付属アクセサリーの販売に注力いたしました。さらに、米国市場では、関税政策を背景とした市場変化を注視しつつ営業活動を進めた結果、工業用ポンプの受注が好転し、例年並みの水準に回復いたしました。また、南米コロンビア市場に設立した現地法人も本格稼働を開始いたしました。

これらの結果、国内におきましては、アグリ流通において大型防除機及び動力噴霧機が増加した結果、国内売上高は6,385百万円(前年同期比15.6%増)となりました。また、海外におきましては、北米向けの工業用ポンプが増加したことなどにより、海外売上高は2,324百万円(前年同期比22.4%増)となり、当第1四半期連結累計期間の売上高合計は8,709百万円(前年同期比17.3%増)となりました。

利益面では、販売費及び一般管理費は増加しましたが、売上高の増加や、生産量増加による原価率の改善などにより、営業利益は24百万円(前年同四半期は424百万円の損失)、経常利益は35百万円(前年同四半期は283百万円の損失)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は15百万円(前年同四半期は177百万円の損失)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

① 農林業用機械

国内におきましては、アグリ流通において大型防除機及び動力噴霧機が増加しました。また、海外におきましては、欧州向けの刈払機が減少したことなどにより、国内外の農林業用機械の売上高合計は6,097百万円(前年同期比10.6%増)、営業利益は79百万円(前年同四半期は284百万円の損失)となりました。

② 工業用機械

国内におきましては、洗浄機が増加しました。また、海外におきましては、北米向けの工業用ポンプが増加したことなどにより、国内外の工業用機械の売上高合計は1,967百万円(前年同期比59.6%増)、営業利益は357百万円(前年同期比90.0%増)となりました。

③ その他の機械

消防機械を主なものとする、その他の機械の売上高は598百万円(前年同期比5.1%減)、営業利益は64百万円(前年同期比12.4%減)となりました。

④ 不動産賃貸他

不動産賃貸他の売上高は80百万円(前年同期比24.1%減)、営業利益は43百万円(前年同期比30.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産総額は40,302百万円となり、前連結会計年度末より1,200百万円増加いたしました。これは、電子記録債権の減少(1,215百万円)はありましたが、商品及び製品の増加(1,968百万円)及び投資有価証券の増加(402百万円)などによるものであります。

負債総額は19,408百万円となり、前連結会計年度末より1,101百万円増加いたしました。これは、賞与引当金の減少(297百万円)はありましたが、支払手形及び買掛金の増加(489百万円)や電子記録債務の増加(407百万円)及び長期借入金の増加(504百万円)などによるものであります。

純資産総額は20,894百万円となり、前連結会計年度末より99百万円増加いたしました。これは、配当金の支払いなどによる利益剰余金の減少(311百万円)はありましたが、その他有価証券評価差額金の増加(298百万円)及び為替換算調整勘定の増加(132百万円)などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、今後の市場環境や材料費のコストダウン、固定費の抑制などの取り組みの効果を見極めていく必要があるため、前回予想(2025年11月14日)を修正いたしませんが、見直しが必要であると判断した時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,877	3,782
受取手形、売掛金及び契約資産	5,087	4,439
電子記録債権	3,165	1,950
有価証券	51	51
商品及び製品	5,659	7,628
仕掛品	403	553
原材料及び貯蔵品	2,924	3,321
その他	1,538	1,425
貸倒引当金	△7	△16
流動資産合計	22,700	23,135
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,028	3,985
土地	2,782	2,790
その他（純額）	3,062	3,027
有形固定資産合計	9,872	9,803
無形固定資産	90	96
投資その他の資産		
投資有価証券	4,762	5,164
退職給付に係る資産	1,411	1,428
その他	286	682
貸倒引当金	△20	△8
投資その他の資産合計	6,438	7,266
固定資産合計	16,401	17,167
資産合計	39,101	40,302

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,248	2,738
電子記録債務	4,310	4,718
短期借入金	5,622	5,967
1年内償還予定の社債	10	10
未払法人税等	203	73
賞与引当金	583	286
製品保証引当金	99	104
株主優待引当金	17	—
その他	1,975	1,638
流動負債合計	15,070	15,536
固定負債		
社債	10	5
長期借入金	1,485	1,990
退職給付に係る負債	10	21
資産除去債務	187	187
その他	1,543	1,668
固定負債合計	3,237	3,872
負債合計	18,307	19,408
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,651	4,651
資本剰余金	4,484	4,484
利益剰余金	9,668	9,357
自己株式	△1,988	△1,992
株主資本合計	16,815	16,501
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,332	2,631
為替換算調整勘定	388	520
退職給付に係る調整累計額	1,059	1,035
その他の包括利益累計額合計	3,781	4,187
非支配株主持分	197	205
純資産合計	20,794	20,894
負債純資産合計	39,101	40,302

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
売上高	7,424	8,709
売上原価	5,540	6,317
売上総利益	1,883	2,392
販売費及び一般管理費	2,308	2,367
営業利益又は営業損失(△)	△424	24
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	38	51
為替差益	124	—
その他	30	34
営業外収益合計	193	86
営業外費用		
支払利息	16	24
為替差損	—	21
賃貸費用	12	—
その他	23	29
営業外費用合計	52	75
経常利益又は経常損失(△)	△283	35
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産処分損	0	1
その他	—	0
特別損失合計	0	2
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△283	33
法人税等	△112	13
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△170	19
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	4
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△177	15

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△170	19
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	185	298
為替換算調整勘定	141	139
退職給付に係る調整額	△14	△24
その他の包括利益合計	312	413
四半期包括利益	141	433
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	134	425
非支配株主に係る四半期包括利益	7	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	260百万円	267百万円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	農林業用 機械	工業用 機械	その他の 機械	不動産 賃貸他	計		
売上高							
一時点で移転される財又は サービス	5,513	1,232	631	3	7,380	—	7,380
一定期間にわたり 移転される財又はサービス	—	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる 収益	5,513	1,232	631	3	7,380	—	7,380
その他の収益	—	—	—	43	43	—	43
外部顧客への売上高	5,513	1,232	631	46	7,424	—	7,424
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	58	58	△58	—
計	5,513	1,232	631	105	7,482	△58	7,424
セグメント利益 又は損失(△)	△284	188	73	62	40	△464	△424

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	農林業用 機械	工業用 機械	その他の 機械	不動産 賃貸他	計		
売上高							
一時点で移転される財又は サービス	6,097	1,967	598	3	8,666	—	8,666
一定期間にわたり 移転される財又はサービス	—	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる 収益	6,097	1,967	598	3	8,666	—	8,666
その他の収益	—	—	—	43	43	—	43
外部顧客への売上高	6,097	1,967	598	46	8,709	—	8,709
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	33	33	△33	—
計	6,097	1,967	598	80	8,743	△33	8,709
セグメント利益	79	357	64	43	545	△520	24

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。